

L P ガス C P 情報(2013年4月積み)

1. 4月積みサウジアラムコLPガスCP

プロパン 790^{ドル} (前月比 -105^{ドル})
 ブタン 835^{ドル} (前月比 -60^{ドル})

① LPガススポット市況

LPガススポット市場は、需要期が明け需給が緩和、原油市況の下げもあり、スポット市況は大幅に軟化した。インドではLPG助成金の削減による輸入需要の減少、また中国では国内価格の低下による輸入減が見込まれ需給緩和感が強く、CP先物はバックワーデーション(期先安)となっていた。一方、ブタンはナフサ高が続いた(前半は930~950^{ドル}、下旬は910~920^{ドル})ことから石化向け需要の引き合いが強く、第3週以降、プロパン、ブタン格差が拡大、第4週は格差が70^{ドル}にも達しブタン高が顕著になった。フレート市況は44^{ドル}台で推移、後半やや軟化し41^{ドル}台に落ちている。

原油(A・L)熱量等価換算では前月に比べプロパン6ポイント、ブタン0.5ポイント下落。前年同月比ではプロパン8、ブタン3ポイントそれぞれ低い。

	第1週	第2週	第3週	第4週	平均
フレート	44	44	42	41	43
CP先物指標:P	805	785	800	795	796
CP先物指標:B	815	815	855	865	838

② 原油市況等

原油市況をみると、3月のWTIは90.68^{ドル}、ドバイ105^{ドル}台でスタート。米国、欧州等経済指標の悪化で南朝に推移、特に欧州はキプロスの金融支援問題から先行きの景気回復の懸念が強まりブレント市況は軟化、WTIとの格差が縮小した。一方、米国は景気回復の期待から株高が続く(最高値更新)、対ユーロドル高が進んだが、リスク許容度が高まり投機資金が流入し、WTIの建玉(総取組高)は11日に172万枚の過去最高を更新した。なお、大口投機玉ネット買い越しは24.4万枚まで再急増した。しかし、米国原油生産量は増加が続き、全米在庫は過去最高水準。ドバイは104~107^{ドル}台、北海ブレントは107~111^{ドル}台の狭いレンジで推移した。

- 3月積みアラビアンライト(3月1~29日まで)は107.50^{ドル}(前月比-7.04^{ドル})
 熱量等価AL100% プロパン881.42^{ドル/トン} ブタン869.33^{ドル/トン}
 AL比 プロパン89.63% ブタン96.05%

2. 2013年4~5月LPガス仕切(CPコスト変動分)への影響

適用期間	TTS	P:円建CP	B:円建CP	P前月比	B前月比
16~15日①	95.81	75,690	80,001	-9,500	-5,100
26~25日②	95.54	80,500	82,600	-4,900	-2,800
1~31日③	95.80	82,400	83,800	-2,900	-1,500
1~31日④	95.80	80,700	82,900	-4,300	-2,100

*TTS平均は①が3月16日~4月1日まで、②は2月26日~3月25日
 ③、④は3月1~31日、①は5月仕切への影響、②~④は4月仕切適用。

③は前月CP3分の2、当月CP3分の1の案分。②、④は前月・当月CP50%案分。詳細は(LPガス価格推移表等を参照)

なお、各社の仕切は、フレート分、バンカーサーチャージ等の改定もなされるため、CPコスト変動分と実際の仕切と異なるケースがあります。更に、為替レートの急変動等もあり、改定幅についてはご注意ください。